



にほんまつ地球市民の会

NIHONMATSU GLOBAL CITIZENS' ASSOCIATION

にほんまつ地球市民の会とは

平成6年に国際協力事業団の二本松青年海外協力隊訓練所が、二本松市岳温泉地区に開設されました。これを契機として、市民挙げて訓練所をバックアップするとともに、国際理解・交流を深めることを目的として平成6年11月に設立されたのが、「にほんまつ地球市民の会」です。現在、個人会員は約300人、特別会員32団体を数えています。

にほんまつ地球市民の会

福島県二本松市金色403-1
 二本松市役所総務部
 企画財政課内
 TEL 0243-55-5090
 発行人
 会長 三保 恵一
 印刷
 (株)松屋印刷所



霞ヶ城箕輪門前にて参加者と

春爛漫

さくらウォーク

in二本松

4月12日(日)に、にほんまつ地球市民の会とJICAボランティアの交流イベントとして恒例のさくらウォークを実施しました。

JICAボランティア、訓練所スタッフ、地球市民の会会員の他に一般の方の参加もあり、総勢200名という大所帯でのさくらウォークは、商工会議所を出発し、霞ヶ城公園、観音丘陵遊歩道など約3時間にわたり市内の桜の名所を巡りました。

当日は、市内の桜はまさに満開で、陽気もウォーキングにはちょうど良い絶好のコンディションで市内散策を楽しみました。コース途中の根崎の本久寺ではちょうど春の縁遊会が開催されており、ステージ上のフラダンスに飛び入りで参加する陽気なJICAボランティアの姿も見られました。

昨年同様開催にあたり、二本松健康歩こう会の皆さんに交通誘導のサポートをいただき、また、NPOまちづくり二本松の皆さんに二本松神社前の特設ブースで玉羊羹やお茶の接待などあたたかいおもてなしをいただきました。

JICAボランティアの皆さんは市民の皆さんとの交流を図ったり、訓練生同士の友好を深めたりといい思い出作りができたようです。



さくらウォークの感想①

- ①名前
- ②派遣国
- ③職種

ほっとさせてくれる街

①岩国佐和 ②ルワンダ ③理数科教師
 二本松駅の改札を出るとすぐに「ようこそ」と満面の笑顔で人々に迎えられ、何故か自分の故郷に帰ってきたような温かい気持ちになった。二本松の穏やかで過ごしやすい気候は、この町の人々の親しみやすさに反映されていると思う。これから先もずっとどこかほっとさせてくれる街であってほしいと思う。

まるで水彩画のよう

- ①有賀良子 ②カンボジア ③家政

日本一の桜の数を誇る二本松の桜は本当に美しいものでした。見上げる桜は春の陽ざしと爽やかな風に揺られキラキラと、山の上から眺める桜は山間に点々と咲き誇り、まるで水彩画のように見えました。小川のせせらぎ、池の水面に揺られて映る桜、景色だけでなく、小さな音にも心が洗われます。ぜひ、大切な人に見せてあげたい！そんな心温まる一日をいただきました。二本松のみなさん！ありがとうございます。

癒され心温まる一日

- ①江黒志津 ②ヨルダン ③作業療法士

4月12日、日曜日。晴天。桜ウォークに参加。城跡公園の桜、坂の上、道端の桜、桜、桜。桜。町中が桜の花で包み込まれ、この素晴らしい光景を派遣国の方々にも伝えたいと、夢中でシャッターを切りました。これぞ日本と言わんばかりの二本松の風景、そして人の温かさに触れ、心身共にとても癒され、心温まる一日でした。

大切な場所

- ①岩崎万里 ②エジプト

③幼児教育

二本松市に来て二週間が過ぎました。初めて訪れた場所ではありませんが豊かな自然と心温まる人たちとの出会いの中で心地良く過ごすことができます。また地域でJICAボランティアをサポートしようとする気持ちが伝わり、責任感ももてるのですが安心して訓練に向かうことができる大切な場所になっているように感じます。



さくらウォークの感想②

- ①名前 ②派遣国 ③職種

楽しい思い出

①遠藤拓哉 ②タイ ③青少年活動
4月12日、さくらウォークに参加しました。良く晴れ、桜の花も満開で、楽しみながら気持ちよく歩くことができました。主催の地球市民の会の皆さんには本当に感謝しています。任国に赴いてからも、この日の楽しい思い出、二本松市の皆さんの声援を決して忘れません。期待に応えることができるよう一杯頑張ります。本当にありがとうございました。

日本の良さを感ずる

①大野亜矢 ②モンゴル ③看護師
先日はお忙しい中、私達の為に素敵なイベントを開催してくださいまして誠に有難うございます。当日は天候にも恵まれ、地域の方達と交流が持てた事が何よりも嬉しく、そして満開の桜を眺めながら改めて日本の良さを感ずる事ができ、思い出に残る素敵な1日となりました。入所前は準備で忙しく、地元の花を見ることがなく任国へ行くのか...とお花見は半ば諦めていたのですが、本日に参加できて良かったと思っています。先日撮った満開の桜の写真を胸に、二本松の皆様にお礼の言葉を込めてお伝えしたいと思います。有難うございました。

空気の色まで桜色

①桐野有美 ②ルワンダ ③獣医・衛生
あたたかい陽射しの中で、どの桜も満開！正直言って受け止めきれないくらいにボリュームです。みんな浮かれて、空気の色まで桜色でした。地元の方々もあたたかく挨拶を返してくださり、これまでの訓練生が二本松の中でいかに良い関係を築いてきたかを垣間見た気がしました。

二度も満開に巡り合う

①川村美千代 ②中華人民共和国 ③日本語教師
関西から来ました。出発前、地元では既に桜は満開でしたが、「ここへ来て、ひと春に二度も満開に巡り合う」という幸運に恵まれました。二本松の桜は見事な



した。目の前に咲く花の美しさもさることながら、あなたに望む山々も桜色に染まり、まさしく「山笑う」の風情！任地で日本を想うとき、二本松の桜を思い出したいと思います。

不安が希望に変わる

①佐野千香 ②モンゴル ③村落開発普及員
福島県及び二本松市は、今回初めて来ました。これから2か月の生活を送り、不安の中で眠りに落ちたのですが、改札を出るとすぐに明るく声をかけていただき、不安が希望に変わりました。また、雪の安達太良山を背景に、木々や花々、家の様子、牧草地や田畑、大変美しい風景です。二本松の人々の笑顔や風景は、任国でも私に力を与えてくれると思います。



一次隊でラッキー

①小松千道 ②カンボジア ③小学校教諭
NTCに来て初めての日曜日。お天気もよく外を歩くには絶好の日でした。8kmと聞いた時はギョッとしたのですが、おかげで桜を堪能できました。二本松の街並みを知ることができました。一緒に歩いた地域の方とのトークも楽しかったです。一緒に歩いた一次隊でラッキーでした。素敵な企画をありがとうございました。

美しい花を咲かせよう

①土岐恵 ②ヨルダン ③体育
さわやかな青空の下、春の二本松市を散策しました。不安と期待をいっぱい抱え、全国各地から集まってきたボランティアにとって、二本松市の眩しい青空と美しい桜が迎えてくれたことは何より嬉しいものでした。地球市民の会の皆さんとゆくり市内を散策しながら、二本松の自然の様子や、市内の歴史について教えてもらいました。また、多くの方から励ましのお言葉もかけて頂き、二本松市の人々の温かさに触れました。冬の厳しさを乗り越えて咲いた美しいこの桜のように、私達も多くの試験を乗り越えて良い活動をし、人としての美しい花を咲かせようという気持ちを新たにしました。



優しさにふれ心む

①出口梨恵 ②ウガンダ ③小学校教諭
「あたたかい街だな」と思ったのが最初の印象です。期待と不安で降り立った二本松駅で大きな旗を持って出迎えてくれた地球市民の会の方々の笑顔に心が和みました。それから市民の方々の優しさにふれる機会が多くありました。自然が豊かで人々の気持ちも豊かな二本松の街で、訓練所生活をがんばり、そして楽しみたいと思います。

鹿児島の桜

①永山麻理 ②ラオス ③バレーボール
私は、こんなにきれいな桜を見たことがありません。さくらウォークで桜並木を歩き、大変感動しました。私の住んでいた鹿児島では、花が咲き始めると同時に集が出てきて、すぐに葉桜になり、私には、町全体でこのように美しい桜を守っていることが素晴らしいと思えました。私が二本松市の桜を見ることができたのを故郷の友人や家族に自慢しようと思います。



桜の数に驚く

①中野加奈 ②エチオピア ③幼児教育
先日の桜ウォークに参加させていただいて、二本松市の桜の数にまず驚きを感じました。道のりは決して平坦ではなく、急な坂道を上ったり下ったり...途中疲れたなと感じることもありました。高いところから遠目でみるピンクの桜の木は緑の木と混ざってとてもきれいです。

あたたかいまなざし

①高澤尚 ②マラウイ ③小学校教諭
初めて二本松の駅を降りたとき、一生懸命に声をかけ、案内をしてくださりました。桜ウォークでは、各所でお茶やお菓子、お酒をいただき、記念写真まで撮っていただきました。二本松の桜の美しさはもちろんです。二本松の方々の私たち候補生への温か



いまなざしは忘れられません。どうもありがとうございました。

興味深い少年隊の説明

①三上佳津江 ②ラオス ③理科数科教師
「今日はそんなに歩かないねえ」一緒に市内を歩いたご婦人たちは元気におっしゃっていました。鶯の鳴き声で目覚めた私たちは長い坂を上り、素敵な桜とその下に広がる街を見て二本松市が好きになりました。ボランティアの少年隊士の説明は興味深く、二本松市の方々の温かさにふれることができた一日でした。

自然と涙があふれる

①横森栄一 ②ウガンダ ③小学校教諭
先日、高村光太郎氏の「智恵子抄」で有名な智恵子の生家に行きました。智恵子が苦しみを負い、光太郎がそれを支え続けた姿を目の当たりにし、自然と涙があふれてきました。岳温泉の桜も満開を迎え、本当に美しい町だなと感じています。このような素晴らしい二本松市に来ることができ、大変嬉しく思っています。市の方々に、私たちが協力隊候補生を温かく迎えて頂き、大変感謝しております。みなさんのご期待に応えられるよう、精一杯任国にて頑張っていきたいと思っております。これからもよろしくお願致します。



見事な桜と歴史の重み

①吉田百合 ②中華人民共和国 ③日本語教師
4月11日、入所してまだ4日目の初めての日曜日。今日は、さくらウォークに160名もの協力隊員が参加しました。見事に咲き誇った桜と歴史の重みを感じ、二本松市を散策することができました。観音丘陵から見た安達太良山も幽玄で、まだ不慣れた生活で少々緊張気味だった気持ちを癒してくれました。このイベントを開催してくださった二本松市の方々に礼を申し上げたいと思います。



にほんまつ地球市民の集い

岡田麻紀さん



「やきとりじいさん体操」 岡田さんの講演会を開催しました!



平成21年2月28日(土)午後6時から二本松御苑において「地球市民の集い」を開催しました。

第1部講演会では講師に「やきとりじいさん体操」で話題沸騰の岡田麻紀さんにおいでいただき「体操しよう！何かが変わる！」と題して講演いただきました。岡田さんは青年海外協力隊OGで南太平洋に浮かぶバヌアツに赴任した経験を持ち、帰国後もJICA二本松訓練所スタッフとして隊員募集や協力隊の支援業務に携わっていましたので、二本松には大変馴染みの深い方でもあります。自身、10年以上痩せられない経験を持ち、健康の大切さを痛感していたことから、健康増進の体操を考えていたところ、昨年5月に「やきとりじいさん」の唄と運命的に出会い、この体操を思いついたとのことで、体操ができるまでの経過などを楽しくお話しいただきました。講演終盤では会場の参加者を巻き込みながらユニークな「やきとりじいさん体操」を披露し大いに盛り上がりました。

第2部交流会ではクイズやビンゴゲームで会員やJICAスタッフ、一般参加者との交流を図りました。

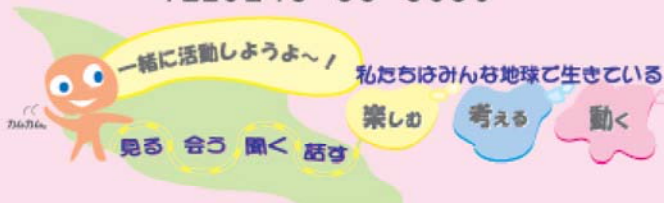
■講師プロフィール

岡田麻紀さん(桜の聖母短期大学講師、青年海外協力隊OG)現在、桜の聖母短期大学の講師として活躍しているが、実は青年海外協力隊OGで南太平洋に浮かぶバヌアツに赴任した経験を持つ。帰国後もJICA二本松訓練所スタッフとして隊員募集や協力隊の支援業務に携わっていた。「やきとりじいさん」の唄と運命的に出会い、私が体操をするなら、この曲しかない！と思い立つ。最大の動画サイトYouTubeでインターネット上に公開されるやユニークな唄と振り付けが話題となる。

会員募集

にほんまつ地球市民の会では、広く市民のみならずより会員を募集しております。会の活動に興味を持たれた方のご連絡をお待ちしております。

事務局:二本松市役所 総務部 企画財政課内
TEL0243-55-5090



平成21年度 にほんまつ地球市民の会総会の お知らせ

日時 平成21年6月23日(火) 午後7時
場所 福祉センター3階 第1会議室

総会終了後に、JICAボランティアの帰国報告会を開催します。

●報告者 渡部隆靖さん(会津若松市出身)
H18年度派遣 派遣国:パラグアイ 職種:小学校教諭

青年研修事業を実施しました

11月5日～11月19日の日程でJICA青年研修としてモンゴル青年15名の受け入れを行いました！
今回は幼児教育関係者だったこともあり全員女性の方でした。

平成二十年年度 モンゴル青年受入①
初めてのホームステイ
受け入れ
二本松市田沢子中山 斎藤 隆博さん

ホ

ームステイを受け入れてみたいとの思いは以前からありましたが、今回、初めて、モンゴル国青年技術研修生二人が我が家で2泊3日滞在をすることとなり、異国文化との交流を深めることができました。

受け入れが決まってから、出来るだけコミュニケーションを図りたいとモンゴル語に慣れてみました。言葉の壁は相当に厚く一言三言しか覚えられず、その日はすぐにやめてきました。

緊張と感動の3日間を振り返ってみます。二本松御苑で行われた歓迎セレブションでは、華やかな

衣装を身につけたモンゴル女性の中から、我が家に滞在するエンヘさん、オギーさんの紹介を受け、「サイン、サイン？」と慣れないモンゴル語で初めての挨拶を交わしました。その後車で我が家へ移動し、夜遅くまで、身振り手振りでの交流を深めました。エンヘさん、オギーさんどちらも見れば日本人と変わりありませんが、話してみると言葉が通じずなんとももどかしく感じました。そんな中で、ふたりが歌う歌は、モンゴルの広々とした大地や人の優しさを感じさせるもので、とても心和む時間をすごすことが出来ました。

次の日は、二人の希望で海を見に相馬に出かけました。移動中の車の中では多くの歌を聞き、私たちが日本の歌を返し歌の交流は最高でした。砂浜での散歩や貝拾いはとても楽しそうでした。相馬港で漁船を眺め、お昼は回転寿司、夜は弟家族も来て

衣装を身につけたモンゴル女性の中から、我が家に滞在するエンヘさん、オギーさんの紹介を受け、「サイン、サイン？」と慣れないモンゴル語で初めての挨拶を交わしました。その後車で我が家へ移動し、夜遅くまで、身振り手振りでの交流を深めました。エンヘさん、オギーさんどちらも見れば日本人と変わりありませんが、話してみると言葉が通じずなんとももどかしく感じました。そんな中で、ふたりが歌う歌は、モンゴルの広々とした大地や人の優しさを感じさせるもので、とても心和む時間をすごすことが出来ました。

自宅へ歓迎パーティーを開きました。なんといっても一人の歌は最高ですがカラオケや楽器を見ないと歌えなくなってしまう日本人と比べ、その場の雰囲気に合わせて次々と歌が出てきます。

3日目は、我が家でゆっくりとした時間を過ごしてもらいました。物質的に豊かな日本ではありませんが、日本で失われつつある心の豊かさを、モンゴルの二人の研修生から感じさせていたかったです。

二人にとって初めてのだった日本を言葉が通じない中でどれだけ紹介できたか分かりませんが、心から交流が出来たと満足しています。モンゴルでの活躍をお祈りします。

機会がありましたら、またホームステイの受け入れに挑戦したいと思えます。

最後に、にほんまつ地球市民の会を始め関係者の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

平成二十年年度 モンゴル青年受入②
初めてのホストファミリー
モンゴル人に感動
二本松市若宮 菊地 久子さん

私

達家族は、初めてのホストファミリーの経験でしたが、モンゴルの国から来た二人の女性をお預かりしました。一見するとどこにでも居るお姉さんといった感じで、とても明るく元気で陽気な人達でした。愛称、メーディー、と、ジャーギー、で、メーディーは二人の子供が居て、私の孫息子を見ると「私の娘が好きになるかも」となどと冗談を言ったりしましたが、少しホームシックになった様子をみせたりしました。でも直ぐほがらかなって、英語が少し話せるので孫娘と話が合い、とても楽しく話をしていました。ジャーギーも陽気な性格で、全員で歌いながら手拍

子でみんなで輪になって踊り、息子も孫も初めははにかんで居りましたが、後の方はぎこちなさも無く、とても初めて踊る人達のように楽しく笑いが絶えず踊らされて、一番大切なのは環境を作る事だと思いました。

2日目は、モンゴルは陸地に囲まれており、海を見たことが無いとの事なので、いわきの水族館に行きました。沢山の魚達を見た後、お船が食ってみたいと言つのでみんなでお船を食べました。慣れない箸と食べ物でしたが、おいしいと喜んでいました。その後はマリントワーに登り、水平線の先の向こうにモンゴルがあるのだと教える、感慨深そうにいつまでも眺めていました。

3日目は、着物を着てみたいというので、夏の浴衣でしたが、着せてあげるととても喜んで、いろいろポーズをとってたくさん写真を撮っていました。着物の柄を見て、私たちが日本の名は「やっこ」と「菊」だと言

つけているので、こちらが嬉しくなっていました。ですが浴衣のまま皆に見せるためホテルに戻りたいと言つので、これは夏に着る着物で、冬に着る着物ではないと説明すると、納得してくれたようでした。最後に、お土産が買えるように郡山のジャスコに連れて行くと、子供の洋服など楽しそうに選んで居りました。集合時間に少し遅れてホテルに戻るほど二泊三日と短い間でしたが、とても中身の濃い時間を過ごす事ができました。外国の人々も、人としての考え方はそう変わりが無い事を体験致しました。かえって今の日本の方々より、人間味があるかもしれません。出来るだけ若い内に外国の方々へ接する機会がある方が、生きて行く上では幸せなのではないでしょうか。本当に楽しい機会を戴きまして有難う存じました。

